平成 30 年度 事業シート

第6次廿日市市総合計画（前期基本計画）

方向性	3 資源を活かす
重点施策	3 地域資源の活用を図る
施策方針	1 農林水産業と商工業との連関強化

担当課名	環境産業部　農林水産課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	05	農林水産業費
	項	01	農業費
	目	03	農業振興費

事業名	農業振興事業	事業開始年度	平成　　年度
		根拠法令 条例 個別計画 等	廿日市市野菜産地化対策事業補助金交付要綱

1 事業の目的、意図

	【対象】誰の（何の）ために	【目指す姿・意図】（いつまでに、どういう状態に）
目的	農業者	安定的な農業経営を営んでいる農業者が増加し、農業生産力が安定している。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所（職員）の役割	関係団体（パートナー）	関係団体（パートナー）の役割
市	農業技術指導 農業技術向上研究支援	佐伯中央農業協同組合	市及び関係団体と連携した農業振興施策の推進及び支援

3 平成 30 年度 予算 （事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

・事業内容

経営力の高い農業者を育成するため、農業指導員を設置し技術支援、指導等を行うとともに、ＪＡ佐伯中央の野菜産地化に向けた取組みや各部会のブランド化等への活動を支援する。

また、広域連携による就農支援研修制度を活用し、退職シニア等の新たな担い手を育成する。

・事業費関連

【歳入】

雇用保険料	5　千円

【歳出】

指導員報酬	2,171　千円
共済費	396　千円
費用弁償（交通費）	345　千円
補助金・負担金	
広島市就農支援研修負担金	105　千円
野菜産地化対策事業補助金	1,000　千円
	4,017　千円

野菜産地化対策事業補助金

目的：市の振興作物の産地化をめざし、生産規模拡大や新たな作物に挑戦する農業者に対し、資材、苗等について補助するとともに、ＪＡ佐伯中央の各部会が取り組むブランド化等の活動に対し、ＪＡ佐伯中央と協調して補助する。

対象者：ＪＡ佐伯中央

対象経費：振興作物の規模拡大や新たに産地化をめざす作物の資材、苗等、ＪＡ佐伯中央の各部会が取り組むブランド化等の活動

補助率：1/2（上限1,000千円）

コスト情報（円）

項目			平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	平成 30 年度予算
直接事業費 A			3,407,134	3,822,000	4,017,000
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）				
	その他（使用料など）				5,000
	市（市税など）		3,407,134	3,822,000	4,012,000
人件費（按分）B			0.11　人 924,110	0.11　人 944,680	0.11　人 940,060
総事業費（A+B）			4,331,244	4,766,680	4,957,060
単位コスト換算	①	人口（4月1日現在）	116,947　人	116,947　人	117,157　人
		市民1人当たり	37	41	42
	②				

目標到達度

	活動及び成果指標	単位	H28 実績値	H29 目標値	H30 目標値	H32 目標値	備考
活動	農業指導員訪問指導経営体数	経営体	28	30	32	37	
成果	認定農業（就農）者数	経営体	28	30	32	37	
	市内野菜生産額（市役所調べ）	百万円	154	190	209	226	